

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： 卓球 専門部

策定日： 令和 3 年 4 月 7 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 2週間前からの検温及び健康チェック
- ・ 無観客
- ・ 卓球専門部制定のコロナ対策の実践

2、大会参加条件について

- ・ 顧問の先生は、各校の健康に関するアンケートを回収して頂き、フロアに持参し、受付を行い、プログラムを受け取ってください。アンケートに異常のあった生徒については、この時に報告下さい。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ サーモグラフによる検温、以上の場合は接触型にて再検温
- ・ これでも発熱が確認された場合は、退出

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 辞退を優先。辞退内容の確認。
- ・

5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ 有観客の場合、観覧席では前後左右最低1席ずつ空けて着席。
- ・ 応援での大声による応援は無し。

6、専門部独自の感染症対策について

- ・ 試合以外の時は、全員マスク着用の事。（練習時は不要）
- ・ 会場出入口は、島津アリーナは一階自動ドアの所のみ。
（福知山三段池公園体育館・京都市体育館は、通常時の一箇所のみ。）
ここに、サーモグラフィーセンサーを設置。異常がある生徒は、別途検温。
アリーナへの出入りは東西の四箇所のみ。基本常時開放。（換気のため）
ここに手洗いジェルを設置するので、入退場時には、必ず消毒を行うこと。
その事が徹底されている事を条件に、ボール・卓球台・カウンターについては、試合毎の消毒は行わない。
- ・ 福知山三段池公園体育館・京都市体育館は、サーモグラフィーセンサーはないので、原則役員による検温。
- ・ 原則開会式はスタンドで行い、閉会式は行わない。
- ・ 更衣室は出来るだけ使用しない。（使用する場合は最小限の時間で！）

- 受付では役員は、マスク及びフェイスシールドを着用。
並び時は、前との間隔を1M以上（歩測2歩）空けて並び。
- ゲームにおいては、試合前後の握手は禁止。ベンチから出るとき、また帰って来たときも同様。
（ハイタッチ等含）
- ベンチコーチは、マスク着用。団体戦の場合選手もベンチでは着用。
- 試合中のタオルは備え付けの籠に入れる。その際、使い捨てペーパータオルを敷いて、終わればフェンスのゴミ袋に捨てる。また、チェンジエンドの時は、籠を持ってコートチェンジを行う。
- 春、秋の1次予選では、各自のタオルを入れるビニール袋を持参し、常に個人のものを使用する。
- コロナウイルス対策について（変更）
 - A)別紙全校高体連卓球専門部からの基本方針（R3年3月8日訂正）を熟読の事。
 - B)昨年度までは、各大会毎に監督・選手・関係者が毎日健康状況チェックシートを提出して貰っていましたが、本年1月より、各個人は2週間前からチェックシートの記入を行い（様式1）、監督は、試合当日各選手のチェックシートを確認の上、健康チェック提出用紙（様式2）にまとめて記入し、毎日提出の事。尚、個人の記録は大会終了時から2週間各チームで保管の上、問い合わせがあった場合には直ちに個人のチェックシートを提出出来るように保管しておくこと。